

Ludwig van Beethoven

交響曲第九番「合唱付」ニ短調 作品125  
Symphony No.9 in d-moll, Op.125 'Choral'

指揮  
木許裕介



ベートーヴェン「第九」初演200周年記念  
1824年、初演プログラム再現公演！

Die Weihe des Hauses Overture, Op.124  
「献堂式」序曲 作品124

Missa Solemnis in D Major, Op.123 "Kyrie" "Credo" "Agnus Dei"

《ミサ・ソレムニス》ニ長調 作品123より  
「キリエ」「グレド」「アニュス・デイ」

Soprano  
杉浦希未



Alto  
谷田奈央



Tenor  
清原邦仁



Bartitone  
池田真己



プロジェクト室内管弦楽団 特設合唱団

合唱指揮 金子正樹 / 練習ピアニスト 城村奈都子

ゲストコンサートマスター

友永健二 (関西フィルハーモニー管弦楽団)



Project Chamber Orchestra

室内管弦楽団

初演プログラム再現  
第九特別演奏会

フェニーチェ堺 大ホール

(堺市民芸術文化ホール) 南海高野線「堺東」堺東駅 西出口を出て南へ  
徒歩約8分

2024 10.20 日

15:00 開演 (14:15 開場) ※終演予定 17:45 頃

14:40より指揮者木許裕介氏によるプレトークあり

全席自由席 2,000円

\*未就学児の入場については事前に一度  
お問い合わせ下さい。託児はございません。



Map

入場チケットについて

電子チケット「teket」からの申し込み  
メールまたはフォームからの申し込み  
フェニーチェ堺ホームページ  
フェニーチェ堺チケット窓口

<https://teket.jp/9244/31970>  
[projit.chamber@gmail.com](mailto:projit.chamber@gmail.com)  
<https://www.fenice-sacay.jp/>  
営業時間 9:00 ~ 20:00

【お問い合わせ】 [projit.chamber@gmail.com](mailto:projit.chamber@gmail.com)

teket



主催：プロジェクト室内管弦楽団

— 出演者プロフィール —

指揮/Conductor  
木許裕介  
Yusuke KIMOTO



©Yasutaka Eida

20代から東南アジアで数々の演奏会を指揮したのち、イタリアを中心に欧州で研鑽を積む。2018年、ポルトガルで開催されたBMW国際指揮コンクールにて日本人初の第1位優勝。同年、出身の大阪府高槻市より「特別功労賞」を受賞。以降、世界各地から指揮者として多数招聘されグローバルな活動を展開。国内では各地のプロオーケストラと共演するほかユースオーケストラの育成に顕著な実績を挙げる。現在、エル・システマジャパン音楽監督、日本ヴィラ＝ロボス協会会長を務める。単著「ヴィラ＝ロボスーブラジルの大地に歌わせるために」(春秋社)など執筆物も多数。東京大学大学院総合文化研究科修了。修士(学術)。

1824年5月7日、人類の至宝「第九」初演が、「さまざまなドタバタ劇」の末、ウィーンのホテルナートーア劇場で行われました。その時のプログラムが献堂式序曲と、今では考えられない、大曲「ミサ・ソレムニス」それも「抜粋」で同時公演という、いつ演奏終わるねん…という、なんとも反応に困る超ヘヴィ級プログラム。時は下り2024年。恐らく全国の「アマチュア」オーケストラでは唯一「200年前のあの時の」第九初演の完全再現を目指した演奏会をしよう、という企画を立ち上げました。プロジェクト室内管弦楽団は、「生活にバロック・古典派を」掲げ、2023年秋に結成されたアマチュア室内管弦楽団です。シンプルな音符の重なりからは予測もつかない深遠な世界が広がるバロック・古典派を中心に据えつつ、状況により様々な時代や演奏形態の曲のアンサンブルも愉しむ、

音楽大好きな集団として今後活動予定です。今回は様々なバックボーンを持つアマチュア社会人が集まり、合唱団とも共闘し、プロとの垣根も超えて、人類の宝「第九」200年前初演時のプログラムの演奏にチャレンジします。今後同様のプログラムには、生きていてそう巡り合わない千載一遇のチャンス。当時の演奏者も観衆も、全員大感動しつつグッタリもしたことでしょ。笑。今回は、その感動とちょっとした「グッタリ感」までを含め、ベートーヴェンや当時の人々に想いを馳せながら、演奏者と客席一体の空間を味わい、大名曲「誕生の瞬間」の空気を共有して、お楽しみ頂ければ幸いです。



Soprano  
杉浦希未  
Nozomi SUGIURA



堺市出身。大阪音楽大学大学院歌曲研究室修了後渡欧。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科卒業後トリノ音楽院歌曲科にて研鑽を積む。これまでにイタリア、オーストリア、ドイツ、チェコ、日本の各地でコンサートやオペラに出演。現在、神戸市混声合唱団団員、神戸サークル合唱団指揮者、女声合唱マリーゴールドハーモニー副指揮者、大阪音楽大学演奏員。様々なコンサートに出演する傍ら、大阪・神戸にて後進への指導も積極的に行っている。



Alto  
谷田奈央  
Nao TANIDA



神戸女学院大学大学院修了。歌劇「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、「コジ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ、『蝶々夫人』スズキ役、他多数出演。「第九」「メサイア」「口短調ミサ」等のアルトソリストも務める。モーツァルテウム音楽院夏期国際アカデミーにてディプロマ取得。350回以上のこどものためのコンサートを展開する「アンサンブルちょうちょ」主宰。司会にも定評があり、関西主要オーケストラの文化庁学校公演にてMC兼歌い手として同行中。神戸女学院大学「音楽によるアウトリーチ」講師。関西二期会会員、神戸音楽家協会会員。



Tenor  
清原邦仁  
Kunihito KIYOHARA



大阪音楽大学大学院修了。今までに「仮面舞踏会」リッカルド、「リゴレット」マントヴァ公爵等、70以上の老若男女外問わず幅広い役柄を好演。イタリアで「蝶々夫人」ゴローを演じ各紙で好評を得た。帝国劇場「レ・ミゼラブル」などにも出演。自主企画オペラなどの演出も手掛ける。関西歌劇団理事。大阪音楽大学非常勤講師。平成17年度大阪舞台芸術新人賞、平成25年度大阪文化祭賞奨励賞、吹田市文化功労者賞受賞。



Baritone  
池田真己  
Masaki IKEDA



1990年生まれ。大阪府島本町在住。大阪府立春日丘高校を経て京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。オペラ「ラ・ボエーム」マルチェロ役で本格的なオペラデビュー。2022年堺シティオペラ真夏の第九(於フェニーチェ堺)にてバリトンソロ及び合唱指揮を務める。センター1万人の第九指導者。堺シティオペラ会員。現在、神戸市混声合唱団団員。また音声配信メディアVoicyのパーソナリティとして「オペラ歌手池田真己の楽屋話」を毎日配信中。X@da\_masakino

ゲストコンサートマスター

友永健二 Kenji TOMONAGA  
(関西フィルハーモニー管弦楽団 ヴァイオリン奏者)



大阪外国語大学中国語学科に学ぶ。93年関西フィルに入団。98年リスト音楽院マスタークラス、99年アフィニス夏の音楽祭に参加。台湾・高雄市にて毎年開催されている中提琴空間(Viola Space Taiwan)に度々招かれ室内楽に出演している。2008年CD「吉松隆:アトム・ハーツ・クラブ」をカメラータトウキョウよりリリース。日本演奏連盟会員。これまでに日比浩一、森田玲子の両氏に師事。

合唱指揮  
金子正樹 Masaki KANEKO



大阪音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。マーラー生誕130年記念演奏会等に出演。ベートーヴェン「第九交響曲」の2台ピアノ版(オットー・ジンガー編)を本邦初演した他、関西歌劇団コレペティートル、テレマン室内合唱団員等を経て現在ピアニスト、作曲、編曲の他、指揮者としても活動中。現在オーケストラノインテ音楽監督。2007年より芦屋混声合唱団指揮者の他各種合唱団指揮&ピアニスト。2014年からは邦楽合奏の指揮者、編曲者としても活動中。

練習ピアニスト  
城村奈都子 Natsuko SHIROMURA  
(関西フィル合唱団 ピアニスト)



武庫川女子大学音楽学部卒業後、同大学専攻科修了。兵庫教育大学大学院修士課程修了。在学中より演奏活動を行い、丹波の森国際音楽祭「シェーベルティアードたんば」には毎年出演するなど主に伴奏室内楽の分野で活動。また、近年は「音楽探偵バッハの事件録」セバスチャン役としても活躍。現在、武庫川女子大学音楽学部伴奏助手、同大学附属中高音楽教室講師。関西フィル合唱団、大阪バッハ合唱団、西宮中央合唱団伴奏ピアニスト。

プロジェクト室内管弦楽団  
Projit Chamber Orchestra

2023年秋、プロオーケストラ&混声合唱団事務局勤務の、代表森本真吾の呼び掛けにより関西圏のアマチュア奏者を集める形で設立された市民室内オーケストラ。(プロジェクト)とは、ドイツ語で「乾杯!」の意味。空間を共有する皆が一体となり幸せになれるオケである願いがこもっています。大編成演目のオーケストラが多い中、意外に見過ごされがちな「原点」である古典・バロックを中心に据えて演奏しますが、作曲家芥川也寸志氏の名言「音楽はみんなのもの」の理念に共感し、活動形態を限定せず、プロや合唱団とも積極的に共演する「色のあるオケ」を目指します。知られざる名曲〜定番曲まで柔軟に演奏するスタイルを標榜。アンサンブルや基本を大事に、室内楽編成をベースに今後活動予定。

プロジェクト室内管弦楽団 特設合唱団  
Projit Chamber Orchestra Special Chorus

2023年秋、「第九」初演200周年記念演奏会のために公募し、設立された合唱団。指導者は金子正樹氏(芦屋混声合唱団主宰)、練習ピアニストは城村奈都子氏(関西フィルハーモニー合唱団ピアニスト)。普段は吹田第九合唱団や、神戸フロイデ合唱団、大阪新音フロイデ合唱団、一万人の第九合唱団(ほか、様々な合唱団に所属しているアマチュアが集まり、今回の演奏会のために研鑽を積む。今後もオケ付き合唱曲を行う時は再結成もあるかも!?)

Ludwig Van Beethoven

Access  
フェニーチェ堺

●堺東駅 西出口を出て南へ  
徒歩約8分

